



Baubiologie

(建築生物学・生態学)
バウビオロギー

特別寄稿 ネパールの風景から

W+G最新記事より バウビオロギーにおける全体性

セミナーレポート 第15回定例セミナー 「食育と食・食材のありかた」

バウビオロギー建築 「建築とゲオマンティ」

新連載に向けて 「文芸作品に読む建築の話」

ショート・インフォ 三題

インフォメーション

2009.03 No.16

日本バウビオロギー研究会

Arbeitsgemeinschaft der Baubiologie Japan

インフォメーション

第12回定例セミナーで「電磁波対策とその現状」の講演をされた株式会社レジナ、土田直樹さんから、下記のお知らせが届きました（参照：会報誌13号、2008.05、p12-15）。

なお本会理事の石川恒夫も、下記「全国電磁波測定士協会」に理事として就任します。今後、健康な住まいを真摯に学び、その理解を深める団体との交流が期待されます。

一般社団法人「全国電磁波測定士協会」の設立について

全国電磁波測定士協会事務局

■ ごあいさつ

「電磁波測定士」は、住まいの電磁波環境に着目し電気の副作用である極低周波電磁波の測定サービス事業と電磁波対策部材の開発を行ってきた(株)レジナによる民間資格です。2006年に同資格制度が設立され、現在の資格取得者は160名を超える規模となりました。

これまで電磁波測定士の知識と活動の礎は、(株)レジナの企業活動により得られた知識とノウハウによるものでしたが、日々進化する通信サービスなどによる電磁波環境の変化やその対策、屋外からの電磁波の影響など、消費者の要望が多様化するにつれ、電磁波測定士の活動の場をより広げ、更なる社会貢献をするべき時期にきていると感じるようになりました。

電磁波測定士が消費者の方々にもう一步踏み込んだご説明やご提案をしていくためにも、一企業ではなくより公平な立場から、電磁波に関する幅広い範囲の情報の収集、より体系化された理論や技術基準、医学的な見解など、アカデミックな視野と実践的な視野を兼ね備えた機関の設立が必要であると考えに至り、平成21年2月1日、一般社団法人「全国電磁波測定士協会」を設立します。

同協会の設立にあたり、大学や専門機関、医療機関などにおいて電磁波環境あるいは現代の住環境のスペシャリストとして活躍される諸先生方に同協会のコンセプトをご理解、ご賛同いただき、理事に就任いただきましたことは、今後の活動に大きな力となることと確信しております。

■ 目的

この法人は、電磁波測定士が電磁波に関し医学・建築・環境等幅広い分野における専門的、国際的な情報を収集しその検証を行うことにより、自らの電磁波測定能力の向上のみならず、我が国において未だ正しく認知されていない電磁波とその影響に関する正確な情報と対策を広く周知させることを目的とします。

■ 事業

- (1) 電磁波に関する幅広い研究・調査
- (2) 電磁波に関する情報の発信
- (3) 電磁波測定方法の標準化基準の策定
- (4) 電磁波測定士の育成と強化
- (5) 電磁波研究調査に関する大学、専門機関、医療機関との提携業務
- (6) 電磁波研究分野に関する国際交流
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 会員資格

・電磁波測定士資格を有し、会員登録を希望する個人または法人。

～電磁波測定士資格についてのお問い合わせ～

株式会社レジナ（千葉県市川市八幡3-8-19、TEL：047-325-7739）

■ 設立記念総会の開催

日時：平成21年6月6日（土）14時～16時30分

会場：石山記念ホール（東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル9F、TEL：03-5468-2461）